



難聴のある子どもの 学びを支えるために

先生の声がしっかり届くことは、
子どもの学びのために何より大切です。
しかし、騒がしい教室では補聴器や人工内耳だけでは
聞き取りが難しい場面があります。
その聞こえをサポートするのが、
フォナックのデジタルワイヤレス補聴援助システム
「ロジャー」です。



難聴児はこんなシーンで困っています

先生が背を向けて
話しているとき



口元が見えず、
ことばを聞き取りにくい

教室が
騒がしいとき



お友達の声や物音で
聞き取りにくい

離れた場所から
先生が話しているとき



距離が離れると
声が届きにくい

ロジャーとは

先生や生徒の声を
難聴児の受信機に直接届けることで、
距離や騒音の影響を軽減し、
聞き取りをサポートする
補聴援助システムです。



ロジャー送信機：親機
ロジャー
タッチスクリーン マイク



ロジャー受信機
(補聴器・人工内耳)



ロジャー送信機：子機
ロジャー
パスアラウンド マイク

様々な研究でその効果が報告されています

小学生は学校で1日の約**90%**を騒がしい環境で過ごしています。^{*1}

子どもが補聴器とロジャーを併用すると



騒音下で実施された研究では、
補聴器を単独で使った場合と比較して
30%以上のことばの聞き取りの
成績向上が示されました。^{*2}



保護者のことばへの
アクセスが
約**42%**増加したと
報告されています。^{*3}

^{*1} Cruckley, J., Scollie, S., & Parsa, V. (2011). An exploration of nonquiet listening at school. *Journal of Educational Audiology*, 17, 23 – 35.

^{*2} Wolfe, J., Neumann, S., Schafer, E., Towler, W., Miller, S., Dunn, A., Jones, C., Nelson, J. (2021). Evaluation of a Dual Adaptive Remote Microphone System. *Journal of Educational, Pediatric & (Re)habilitative Audiology (JEPRA)*, Vol. 25, 2021-2027

^{*3} Benitez-Barrera, C.R., Angley G.P., & Tharpe, A.M. (2018). Remote microphone system use at home: Impact on caregiver talk. *Journal of Speech, Language and Hearing Research*, Vol. 61, 399-409.



ロジャー タッチスクリーン マイク

先生にお使いいただく送信機についてご説明いたします。

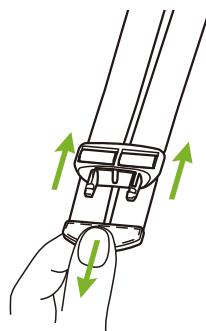
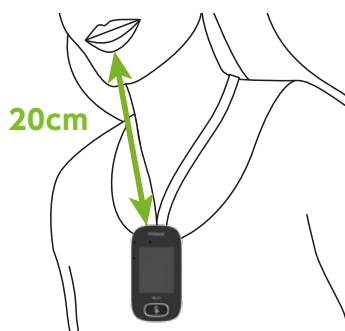
先生の声を受信機機能を持った生徒の補聴器や人工内耳にワイヤレスで送ります。
送信距離は最大約25m*です。

●各部の名称



●装着方法

ストラップを使い口元からマイク上部までの距離が15～20cmくらいになるよう調節してください。本体のディスプレイが見えるように装着してください。



ストラップの端を
ひっぱって
長さを調節します。

*使用方法により、最大送信距離が拡張できる場合があります。操作方法は、フォナック補聴器総合カタログをご覧ください。
※2時間充電で約10時間使用できます。充電を行う際は、付属の純正ケーブルをご使用ください。

ロジャー タッチスクリーン マイク 使い方は簡単 4ステップ

STEP1 首にかける

STEP2 電源を入れる



インジケーターが緑色に点滅するまで電源ボタンを長押しします。
電源が入るとディスプレイが点灯して、インジケーターが緑に光ります。

STEP3 ロジャーからの音が聞こえているか確認

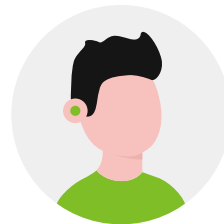
ロジャー タッチスクリーン マイクに向かって話しかけたり、
マイクを指でこすってガサガサ音が聞こえているか確認してください。

生徒への質問は「はい／いいえ」で答えられる質問ではなく、
「起きた時間は？」など、質問内容を聞き取れていることが確認できる質問
が有効です。この時、音が届いていることをしっかり確認してください。

＼ 起きた時間は？ ／

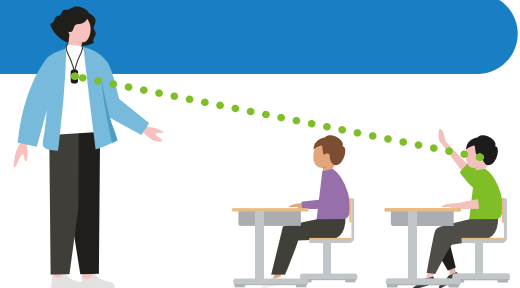


＼ 6時30分！ ／



STEP4 話す

普段通りに会話を行ってください。
先生の声が、受信機機能のある補聴器・
人工内耳に届きます。



授業が終わったら生徒に伝えたくて電源をオフにしてください。

※電源を切る際は「電源を切りますか？」と表示されるまで電源ボタンを長押しし、「Yes」をタップすると電源が切れます。
電源がオンのままだと、教室から離れても電波が届けば話している声が生徒に届いてしまう可能性があります。

こんな時はどうする？

●電源を入れても、声が届かない時

接続したい生徒の受信機（補聴器・人工内耳）の10cm以内に
ロジャー タッチスクリーン マイクを近づけ「機器の接続」をタップします。
接続が成功すると、ディスプレイに「接続されました」と
表示され生徒にはビープ音が聞こえます。

※機器の接続は片耳ずつ必要な場合があります。



●生徒に音を聞かれない時

ミュートボタンを押します。ボタンの周りが赤く点滅中はミュートです。

※ミュート設定をし忘れたために、お手洗いの音が聞こえてしまったり、
先生同士の大事な話が生徒に伝わってしまう、というようなことがおこり得ます。
ミュート入切の操作は日頃から意識してのご活用をお願いいたします。

※ミュートを解除するには再度ミュートボタンを押してください。



先生方へ

教室でロジャーを使うと?

動画でチェック



取扱説明書



製造販売業:ソノヴァ・ジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8
天王洲パークサイドビル
フォナック カスタマーサービス
法人のお客様窓口 TEL:0120-04-4079
個人のお客様窓口 TEL:0120-06-4079
(受付時間:月～金 9:00～17:30 土日祝休み)
FAX:0120-23-4080
許可番号 13B2X10021

「合理的配慮」により、音環境の改善を考える皆さまへ

2016年4月に施行された「障害者差別解消法」(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)や「障害者雇用促進法」により、社会のさまざまな場所で「合理的配慮」が求められています。教育機関や企業で音環境の改善をご検討されている方に、補聴援助システムの情報のひとつとして本リーフレットをご活用いただけます。

フォナック製品のご相談・ご用命は…



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

本リーフレットの内容は2026年7月現在のものです。

sonova
HEAR THE WORLD